

『時事直言』 No.1659 2024年4月1日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

増田の「日経平均5万円説」

やっと目覚めた日本人

さすがの日本経済も30年間も死に体で眠れば目が覚める。

2013年4月4日、日銀の黒田総裁は異次元(異常)金融緩和で物価2%達成を目指したが成就出来ず、10年後の2024年4月9日植田新総裁にバトンタッチした。

植田総裁は物価が2%を超えたにもかかわらず、質的金融緩和(マイナス金利、イールドカーブコントロール(上場投資信託)、ETF 買い)は止めたが量的金融緩和は続行している。

利上げとは言え政策金利がマイナス0.1%からゼロになっただけで市場に利上げインパクトはない。

従って今後追加利上げが想定されるが、大規模な量的緩和は続けるので円の購買力は下がり、かつまた今後の利上げ傾向から値下がりすることになる国債は売られるから円安になる。

日本の国債市場の50%以上のシェアを持つ外人勢は2024年当初から3月の日銀政策決定会合の後を一貫して日本の国債を売り続けている。

外人は何時まで日本の国債を売り続けるのであろうか。

それは今後日銀が0.25%ずつの連続利上げに踏み切るまで止めないであろう。

日銀は、超円安(152円台)は外人投機筋の仕業と言っているが、投機筋の追加利上げ圧力に対抗できるのは円買い介入だけだと思っているが大きな間違い。

2022年の例の通り、政府・日銀は約6兆円の介入をして150円を145円まで上げたが10日後は元の本阿弥で150円に戻っている。

日銀の円買い介入では外人仕手に対抗出来ない。

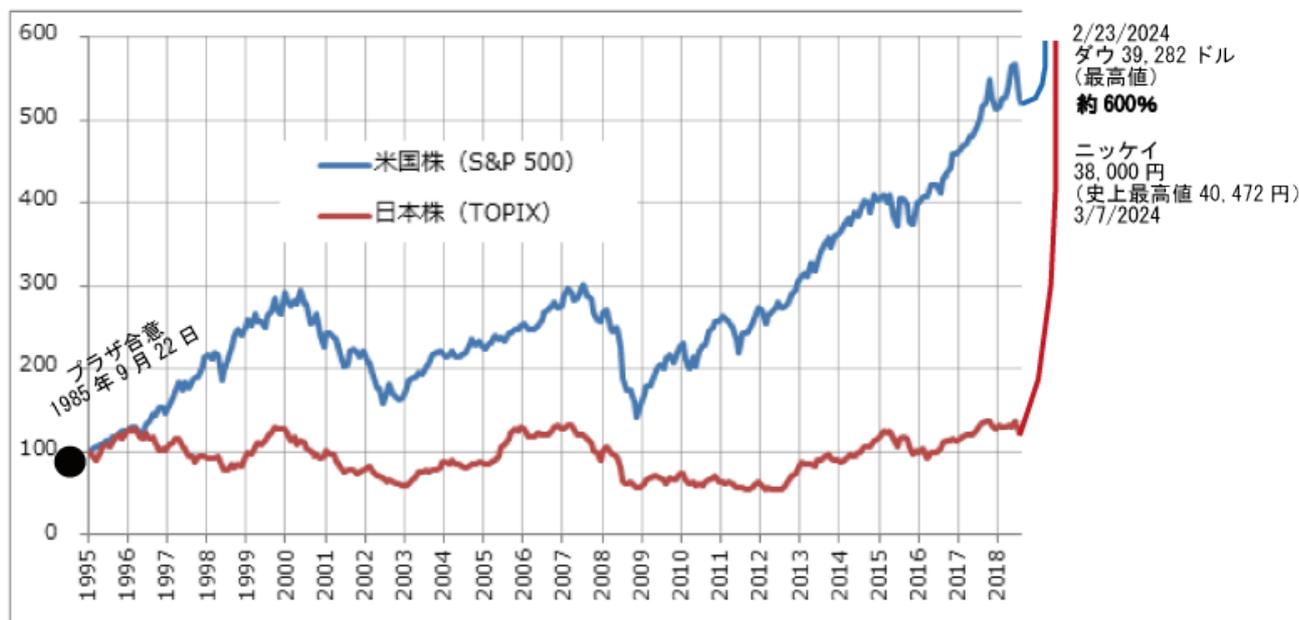
ユダヤ資本が金の買い占めの為に先物市場で金価格を下げているように、外人仕手は日本株を買い占める為に円安誘導を続けている。

外人仕手のニッケイターゲットは5万円だろう。

マスコミが「希望特集」を始めたのも外人プロパガンダの一環である。

次ページ日米株価チャートをご覧ください。

図：日米の株価指数の推移



〈注〉 1995年4月を100とした指数

〈出所〉 SPEEDAより大和総研作成

誰が寝た子を起こしたのでしょうか？！

日本経済死に体は登り竜に転換させられようとしている！

小冊子 Vol.139 でカネ(資本)と力(軍事覇権)がどう転換しようとしているかを
学んで下さい。

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。
是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの
視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会
社 (FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313) までお知らせ下さい。